

(1) 「子ども のびのび」 かなん

評価・課題	検討の方向性
<p>○ KPIのうち、転入者数や出生数等は目標を達成している一方、自身の子育てが地域に支えられていると感じている人が少ない。</p> <p>→様々な子育て世帯優遇策（医療費助成、保育料第2子以降無償化等）の効果により、子育て先として本町を選ぶ人が増えた一方、各種子育て支援施策（子育てセンター事業、母子保健事業等）については、利用者の期待とのギャップがあるのではないか。</p>	<p>○ 医療費助成、保育料第2子以降無償化、副食費助成等の金銭面の子育て世帯優遇策は継続しつつ、子育て世代に対するソフト面の施策の見直し・強化を図ることとしてはどうか。</p>
<p>○ 学校関連のKPIについては、「『学校に行くのが楽しい』と思う児童・生徒の割合」は増加している一方、「将来の夢や目標を持っている児童・生徒の割合」のように、横ばいの指標も存在。</p> <p>→教育の質の向上に関する取組みについては、改善の余地があるのではないか。</p>	<p>○ 教職員の負担軽減、業務の改善を含め、教育の質の向上に向けて更なる取組みを検討する必要がある。</p>
<p>○ 「町が支援する婚活事業への参加者数」のように、対応するイベントが存在しないKPIが存在。</p> <p>→KPIを廃止するか、新たな事業を開始するか、検討する必要があるのではないか。</p>	<p>○ KPIを廃止するか、新たな事業を開始するか、検討する必要があるのではないか。</p>

(2) 「元気 もりもり」 かなん

評価・課題	検討の方向性
<p>○ 『①地域資源を活用した特色あるまちの魅力づくり』については、かなんブランドの商品開発支援補助金について目標を上回る活用があるなど、地域の特色発信に向けた製品づくりは一定程度進んでいるものの、道の駅かなんに係るKPIが災害等の要因により横ばいに留まっているなど、ほとんどのKPIで目標未達となっている。</p> <p>→地域資源の開発・活用に係る取組みについて、十分な効果が上がっていないのではないか。</p>	<p>○ 河南町の地域資源を用いた商品・サービスの差別化・知名度アップに向けた取組みについて、全体的な強化・改善を検討すべきではないか。特に、本町における中心的な交流拠点である道の駅かなんについては、集客力強化のための方策を検討すべきではないか。</p> <p>○ 観光資源の開発を含め河南町の魅力を高める観点から、大阪芸術大学との連携強化を模索すべきではないか。</p>
<p>○ 『②産官学との連携による持続可能なまちの元気づくり』については、商工会との連携、融資制度の活用促進等に取り組んできたが、KPIを見ると十分な効果が上がるに至っていない。</p> <p>→企業立地の制約となっている要因の除去等に向けた取組みの推進が必要ではないか。</p>	<p>○ 企業立地の制約となっている要因の除去等に向けて、地区計画の策定などの方策について、関係機関と連携しつつ、検討を進めるべきではないか。</p>

(3) 「笑顔 いきいき」かなん

評価・課題	検討の方向性
<p>○ I・J・Uターンなどの移住促進策については、転入者数、生産年齢人口の転入数ともに、目標を達成している。 →移住促進策については、子育て世帯優遇策等の他の施策と相まって、効果を上げているのではないか。</p>	<p>○ これまでの施策を継続しつつ、転入者が河南町を選んだ理由を分析した上で、さらなる移住促進策が可能か検討すべきではないか。</p>
<p>○ 高齢者の活動支援については、「介護・介助が必要ない人」の割合は目標には到達していないが改善傾向にはある一方、「高年者人材センター延従業者数」は減少している。 →介護予防は一定の効果が上がりつつあるが、意欲のある高年者就労支援の取組みは効果が十分には出ていないのではないか。</p>	<p>○ 更なる高齢化の進展を見据え、介護予防には引き続き取り組みつつ、意欲ある高齢者に対する就労支援の強化を目指すべきではないか。 ○ 医療・介護等に係る指標については、高齢化により母数の性質が変化することも踏まえて、KPIの改訂を検討してはどうか。</p>
<p>○ 『防災・減災等の取組強化』については、自主防災組織の結成率が100%を達成したほか、犯罪認知件数も減少しているなど、概ね目標を達成している。 →ソフト面の防災・防犯関連施策については、取組みが進んできているのではないか。</p>	<p>○ 地域の防災・防犯能力の維持・向上に向けて、引き続きソフト面の施策を継続していくべきではないか。 また、近年の災害の大規模化・激甚化を踏まえ、防災関連施策（ハード事業）についても、各種補助金を活用しながら、継続的に取り組むべきではないか。</p>
<p>○ 『保健・医療の充実』については、一部改善が見られる指標があるものの、全体的にKPI未達となっている。 →予防医療、健康教育やスポーツ活動の推進に向けた施策については、改善・見直しが必要ではないか。</p>	<p>○ 特定健康診査受診率の向上に向けて対策を講じるべきではないか。 健康教育や各種スポーツ支援活動の支援については、これまでの個々の施策を見直しつつ、新たな取組みを検討することとしてはどうか。</p>

(4)「都会 きらきら」かなん

評価・課題	検討の方向性
<p>○『①大都市近郊の利便性と快適な都市整備基盤を備えたまちづくり』については、個別施策に係るKPIは目標を達成している項目が存在する一方、全体KPIである「転出者数」については、目標未達となっている。</p> <p>→これまでの取組みの改善・見直しを含め、定着率を上げるための取組みを検討する必要があるのではないか。</p> <p>→下水道については、計画区域内污水管の敷設は1・2年で終了見込みであり、今後は敷設地域における普及率の向上が課題。また、災害の激甚化を踏まえた対応も検討する必要があるのではないか。</p>	<p>○ これまでの施策を継続しつつ、転出者の転出理由を分析した上で、定住増につながる取組みを検討すべきではないか。</p> <p>○ いわゆるゲリラ豪雨等の増加を踏まえ、下水道等のインフラ機能が十分備わっているかについて、検討・対応すべきではないか。</p>
<p>○『②効率的・機能的なまちづくりの推進』については、目標を上回るペースで取組みが進んでいる項目も見られる。</p> <p>→より効率的・機能的な行政の実現を目指して、さらなるITの活用や空き公共施設の活用用途の検討など、次の段階の検討を進めるべきではないか。</p>	<p>○ 3町村（豊能町、河南町、千早赤阪村）共同クラウドシステムのさらなる活用、ルーティン業務におけるIT化の推進等、行政の一層のIT化・効率化を検討すべきではないか。</p> <p>○ 空き公共施設・用地について、維持管理費の軽減、重要施策への活用の可否等の観点を含め、再利用・整理の方針の検討を進めるべきではないか。</p>

(5)「田舎 わくわく」かなん

評価・課題	検討の方向性
<p>○『①自然の豊かさを実感し、訪れてよかった・住んでみたいと思えるまちづくり』については、全体指標である「休日の滞在人口率」のほか、個別KPIについても、観光関連、農業関連ともにほとんどのKPIが未達となっている。</p> <p>→観光資源・観光ルートの開発・整備について、取組みの改善・見直しが必要ではないか。</p> <p>→河南町における農業の魅力を維持・向上させるための取組みの改善・見直しが必要ではないか。</p>	<p>○ 河南町の地域資源を用いた商品・サービスの差別化・知名度アップに向けた取組みについて、全体的な強化・改善を検討すべきではないか。特に、本町における中心交流拠点である道の駅かなんについては、集客力強化のための方策を検討すべきではないか。【再掲】</p> <p>○ 百舌鳥・古市古墳群の世界遺産登録を踏まえ、近つ飛鳥博物館を含む河南町の観光資源・ルートの開発・整備を検討すべきではないか。また、自然を活かしたレクリエーションの促進についても検討すべきではないか。</p> <p>○ 新規就農支援、スマート農業の普及等を進めるための取組みを検討すべきではないか。</p>
<p>○『②美しい景観を維持する自然調和型まちづくり』については、全体目標、個別KPIともに数値が悪化しているものが多い状況となっている。</p> <p>→太陽光発電普及促進を含む景観整備・資源循環型社会の構築に向けては、国の施策の動向や環境変化を踏まえつつ、取組みの見直し、新たな方向性の検討が必要ではないか。</p> <p>→桜の植樹など、本町独自で取り組んでいる景観整備等に係る取組みについては、これまでの進捗を踏まえた改善・深化が必要ではないか。</p>	<p>○ 太陽光発電の買取価格の引き下げが行われていることを踏まえ、再生エネルギーの普及に向けた取組みの見直しを検討すべきではないか。また、ごみ減量に向けて新たな取組みを検討すべきではないか。</p> <p>○ アドプトロードを含め、景観維持・美化に係る地区の取組みを支援するための新たな方策を検討することとしてはどうか。また、桜の植樹については、植樹可能な場所が限られてきたことを踏まえ、例えば、桜並木の整備を目指すという観点からゴールを改めて設定することとしてはどうか。</p>

(6)「どきどき 発信」かなん

評価・課題	検討の方向性
<p>○ 全体目標である「検索エンジンの『河南町』ヒット数」、「町ホームページの年間閲覧件数」は目標を達成したものの、その他のKPIについては目標未達となっている。</p> <p>→町のイメージ戦略やシティセールス、施策のPR等について、予定どおりの効果が上がっておらず、取組みの改善・見直しが必要ではないか。</p> <p>→施策の検討にあたっては、(2)「元気 もりもり」かなんや(5)「田舎 わくわく」かなんに係る課題も踏まえて、検討を進めていくべきではないか。</p>	<p>○ 地域資源の開発、観光ルートの整備等と並行して、対外発信の内容・ツールについて見直し・強化を検討すべきではないか。</p>